

2015 年度 関西学院大学自己点検・評価

< C 票 > 第三者評価結果 【経営戦略研究科（専門職課程）】

教育研究目標 1

1. 6年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と6年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と6年後のめざす姿（目標）との関係性 (※6年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか)	
「具体的である」 3名	<p>左記を選択した理由：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業経営戦略コース定員の出願率の向上から高い職業倫理観を持ったグローバルに活躍できるビジネスパーソンの養成を目標としているため。(評価者A) ・ 教育研究目標を社会の現状に合わせ、目標として具体化されたものとなっています。(評価者B) ・ 女性の社会的活躍を支援するための教育システムづくり、地域医療や介護と連動した医療マネジメント人材の養成など具体的に計画しているからです。(評価者C)
「具体的でない」 0名	<p>左記を選択した理由：</p>
<p>その他気づいた点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「企業経営戦略コース定員の出願率」から「企業経営戦略コース定員の出願率の向上から高い職業倫理観を持ったグローバルに活躍できるビジネスパーソンの養成」を直結するのは難しそうのため、さらなる工夫が期待されます。(評価者A) 	
6年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
<p>目標の内容</p> <p>(設定された6年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。)</p>	<p><評価者からのコメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ①②③④とも妥当、適切です。(評価者A) ・ 意欲的な取組となっています。(評価者B) ・ 女性管理職・経営者の人材養成、医療マネジメント人材養成などを計画しており、意欲的な取組み内容です。(評価者C)
<p>評価指標</p> <p>(目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。)</p>	<p><評価者からのコメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「企業経営戦略コース定員の出願率」から「企業経営戦略コース定員の出願率の向上から高い職業倫理観を持ったグローバルに活躍できるビジネスパーソンの養成」を直結するのは難しそうのため、さらなる工夫が期待されます。(評価者A) ・ そういう理想的な人材育成が出来たことが、出願率の向上に直結するのは、難しい問題であることが予想されます。従って、結果実現のためには、公表などを通じて、別の工夫が必要になるのではないのでしょうか。(評価者B) ・ 目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当です。(評価者C)
<p>目標達成スケジュール</p> <p>(目標達成に向けたスケジュール設定は適切か(長すぎないか、短すぎないか))</p>	<p><評価者からのコメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「企業経営戦略コース定員の出願率」から「企業経営戦略コース定員の出願率の向上から高い職業倫理観を持ったグローバルに活躍できるビジネスパーソンの養成」を直結するのは難しそうのため、さらなる工夫が期待されます。(評価者A) ・ 妥当な範囲であると思われます。(評価者B)

	・ 目標達成に向けたスケジュール設定は適切です。(評価者C)
--	--------------------------------

教育研究目標 2

1. 6年後のめざす姿 (目標)

教育研究目標と6年後のめざす姿 (目標) との関係	
教育研究目標と6年後のめざす姿 (目標) との関係性 (※6年後のめざす姿 (目標) は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか)	
「具体的である」 3名	<u>左記を選択した理由:</u> ・ 入学定員の充足について言及しているため。(評価者A) ・ 十分な学生数の確保は、教育の質に大きく影響を及ぼすと思われるため。(評価者B) ・ 国際経営コースの入学定員充足のための具体案を提案しているからです。(評価者C)
「具体的でない」 0名	<u>左記を選択した理由:</u>
その他気づいた点:	
6年後のめざす姿 (目標) の妥当性、適切性	
目標の内容 (設定された6年後のめざす姿 (目標) の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。)	<u><評価者からのコメント></u> ・ ①②③④とも妥当、適切です。(評価者A) ・ 客観的にみて妥当と思われます。(評価者B) ・ 設定された6年後のめざす姿 (目標) の内容は、客観的に見て妥当です。(評価者C)
評価指標 (目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。)	<u><評価者からのコメント></u> ・ 評価尺度の記入が必要です。(評価者A) ・ 妥当 (評価者B) ・ 目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当です。(評価者C)
目標達成スケジュール (目標達成に向けたスケジュール設定は適切か (長すぎないか、短すぎないか))	<u><評価者からのコメント></u> ・ 適切です。(評価者A) ・ 適切 (評価者B) ・ 目標達成に向けたスケジュール設定は適切です。(評価者C)

教育研究目標 3

1. 6年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と6年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と6年後のめざす姿（目標）との関係性 (※6年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか)	
「具体的である」 3名	<p>左記を選択した理由：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グローバルに活躍できる職業会計人の育成、社会人のリカレント教育の充実を目標としているため。(評価者A) ・ 教育研究目標の現状に則した具体化と云いうるため。(評価者B) ・ 英語での授業科目及び高度な実践的科目の設置・増加を計画しているからです。(評価者C)
「具体的でない」 0名	<p>左記を選択した理由：</p>
その他気づいた点：	
6年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
<p>目標の内容</p> <p>(設定された6年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。)</p>	<p><評価者からのコメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ①②③④とも妥当、適切です。(評価者A) ・ 意欲的な取組と思われます。(評価者B) ・ 設定された6年後のめざす姿（目標）の内容は、研究科の特長を伸長させる内容です。(評価者C)
<p>評価指標</p> <p>(目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。)</p>	<p><評価者からのコメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 妥当です。(評価者A) ・ 妥当(評価者B) ・ 行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当です。(評価者C)
<p>目標達成スケジュール</p> <p>(目標達成に向けたスケジュール設定は適切か(長すぎないか、短すぎないか))</p>	<p><評価者からのコメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適切です。(評価者A) ・ 適切(評価者B) ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切です。(評価者C)